

みどりの食料システム戦略推進総合対策事業実績書

I 有機農業産地づくり推進対策事業

1 事業の目的

南種子町の農業は、さとうきびや原料用さつまいも，早期水稲といった土地利用型作物の栽培が盛んであり，担い手の不足及び高齢化が深刻化している。それに伴い，遊休農地の増加や農家戸数の減少が予想される。また，肥料や農薬等の資材の大部分を島外からの移入に依存しており，化石燃料価格の高騰が生産コストに大きく影響する。以上のような課題は農業分野のみならず，すべての分野においてみられる課題であり，将来に向けて解決への取組みが必須である。こういった状況の中，農業や地域の将来も見据え，持続可能な食料システムの構築に資する取組として有機農業を推進する。地域の有機資源を活用した環境にやさしい農業生産及び消費を拡大し，オーガニックな町づくりに取り組むことで，環境汚染や人口減少，担い手不足等の様々な課題の解決を目指す。

2 事業実績

(1)生産関連の取組

実施時期	内 容	対象者等	備 考
R5.4月～R6.3月	有機米栽培試験実施	町内農業者	
R5.6月.10月	先進地視察(始良市・宮崎県綾町)	南種子町有機農業推進協議会	
R5.9月、R6.1月	有機給食研究会の開催(農業者研修会)	町内農業者	
R5.6月.9月、R6.1月	栽培指導・講習会の開催(農業者研修会含)	南種子町民	
R6.1月～R6.3月	新規有機就農者確保(有機JAS取得支援)	有機JAS認証取得者	
R5.6月、R6.2月	農業意見交換会	町内農業者	
R5.4月～R6.3月	遊休農地復旧	町内有機農業者	未実施

(2)流通・加工関連の取組み

実施時期	内 容	対象者等	備 考
R5.4月～R6.3月	鹿児島大学との共同研究	南種子町有機農業推進協議会	
R5.6月.10月	先進地視察(始良市・宮崎県綾町)	南種子町有機農業推進協議会	
R5.4月～R6.3月	有機農業推進検討会の開催	南種子町有機農業推進協議会	
R6.2月	有機農産物加工品意見交換会	町内農業者	

(3)消費関連の取組

実施時期	内 容	対象者等	備 考
R5.6月.10月	先進地視察(始良市・宮崎県綾町)	南種子町有機農業推進協議会	
R5.4月～R6.3月	有機農業推進検討会の開催	南種子町有機農業推進協議会	
R5.4月～R6.3月	有機農業体験イベントの開催	あおぞら保育園・町民	
R5.7月～R6.3月	有機農産物の学校給食への活用	町内小中学校・保育園	
R5.11月、R6.3月	町内イベントへの参加、食材提供	南種子町民	

(4)事業の目標

項目	目標年度	令和3年	目指す目標	波及効果
有機農業の面積拡大	令和9年度	8.47 ha	11.50 ha	遊休農地の解消
有機販売量拡大	令和9年度	43.00 t	85.00 t	地産地消の促進
有機農業者増加	令和9年度	9人	16人	担い手不足の解消